東北自然歩道マップ

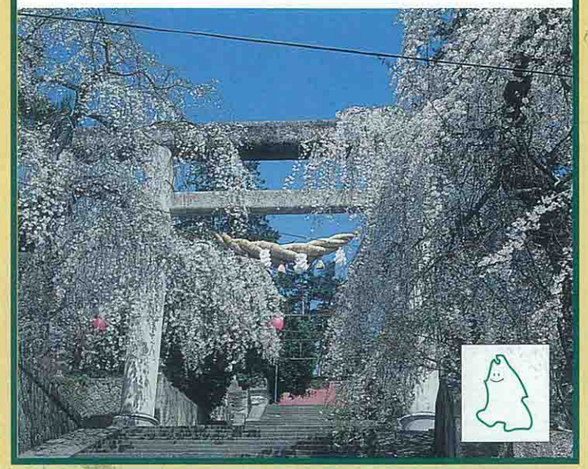
NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA

新・奥の細道

米沢北ルート
①

湯けむりとフルーツのみち

yukemuri-to-furutu-no-michi



山形県

周辺のアクセスガイド

南陽市赤湯（表町バス停）までは
- JR山形駅からJR赤湯駅まで電車で30分
- JR赤湯駅から車で5分

南陽市漆山までは
- JR赤湯駅からおりはた駅までフラワー長井線で10分そこから徒歩3分
- JR赤湯駅から車で15分

観光・宿泊のお問合せ	南陽市総合観光物産センター（サーマルプラザ）〒999-22 南陽市郡山番外地	☎0238-40-2002
交通のお問合せ	JR赤湯駅 〒999-22 南陽市郡山番外地	☎0238-43-2009
コースのお問合せ	南陽市商工観光課 〒999-22 南陽市三間通436-1	☎0238-40-3211
	山形県環境保護課 〒990-70 山形市松波2-8-1	☎0236-30-2206

表紙の写真は烏帽子山公園

NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA

GUIDE みどころ案内

このみちは、開湯900年の歴史を持つ赤湯温泉街を起点とし、果樹園地帯をぬけ、秋葉山へと向かう。この道沿いには、温泉保養施設「ハイジアパーク南陽」があり、さまざまな入浴が体験できる。自然豊かな秋葉山からは、東北の伊勢と呼ばれる「熊野大社」、「鶴の恩返し伝説」で有名な「夕鶴の里」、伝説の古刹「珍蔵寺」を巡ります。

赤湯温泉 Akayu-onsen

今から900年の昔、源義家の弟義綱が、草刈八幡のお告げで渾々と湧きだす湯を発見し、戦いで傷ついた家来たちを湯に入れると、たちまちのうちに傷が治り、傷からでた血で温泉は深紅に染まったといわれ、そしてこの地が「赤湯」と呼ばれるようになったと伝えられています。江戸時代には近隣の農民や、病気の者の湯治場として繁栄しました。同時に、米沢市の小野川と並んで上杉藩の温泉場として利用されていました。なかでも上杉鷹山は、画家に命じて「丹泉八勝」（赤湯八景）を描かせており、この地への愛着のほどが伺われます。

烏帽子山公園 Ebosiyama-koen

烏帽子山八幡宮大鳥居

明治初期に造成された東西1.5kmほどの高台の公園です。樹齢100年ほどのソメイヨシノ・シダレサクラ・カスミサクラなど800本の桜があり、日本の桜の名所100選に選定されています。

ハイジアパーク南陽 Hygeia-Park-Nanyo

置賜盆地、吾妻連峰、飯豊連峰、朝日連峰を一望する小高い丘の上にたつハイジアパーク。この大パノラマを眺めながら豊かな湯に浸ることができます。ジャグジーや打たせ湯、ジェットバス、ハーブの湯、雪見サウナ、ボディーシャワーと設備も多彩。トレーニングルームや、マッサージルームも完備されています。屋外に広がるバーベキューガーデンでは、南陽特産ワインや、米沢牛を味わうことができます。

大浴場

◎利用案内 ◆営業時間／AM9:30～PM9:30 ◆休館日／第2・4月曜日
◆入 館 料／大人1,800円・中高生1,200円・小人800円
※その他に、研修室・ゲートボール場・パターゴルフ場があります。（有料）
◆お問い合せ／TEL0238-45-2200

秋葉山 Akiha-san

秋葉山は宮内地区の東北約2kmに位置する標高561.3mの低山地であり、周辺は、自然植生は少なく皆伐を受けて成立したコナラの2次林に覆われています。この秋葉山は現在市民の格好のハイキングコースになっており、山頂には秋葉山大権現（秋葉神社）が祠られています。秋葉山の中腹にある坑道は全長100mもあり、5代にもわたって掘り続けたことから「五代鋪金山」と名付けられた金山採掘跡があります。

熊野大社・双松公園 Kumano-taisya・Sosho-koen

日本三熊野のひとつで、初詣や7月の例大祭などに訪れる人々で賑わいます。1083年に起こった後三年の役において、源義家の使いの鎌倉権五郎景政が1087年にここに立ち寄り、必勝を祈願して手植えされたと伝えられる県天然記念物の大銀杏を見ることができます。また、熊野大社北側の双松公園は、6月上旬から7月上旬の南陽バラ祭りでは3百種類、6千本のバラが咲き誇り、10月中旬から11月中旬にかけての菊祭りでは大輪の2千鉢の菊、豪華絢爛な菊人形、カーニバル等が楽しめます。

双松バラ園

◎利用案内
◆バラ祭り入場料
大人310円
小人100円
◆菊祭り入場料
大人1,000円
小人600円

夕鶴の里 Yuduru-no-sato

鶴の恩返しで有名な鶴布山珍蔵寺のすぐ近くにあり、この地に伝わる民俗や歴史の資料を展示しています。語り部の館は、地元の語り部から直に民話を聞くことができます。（要予約）

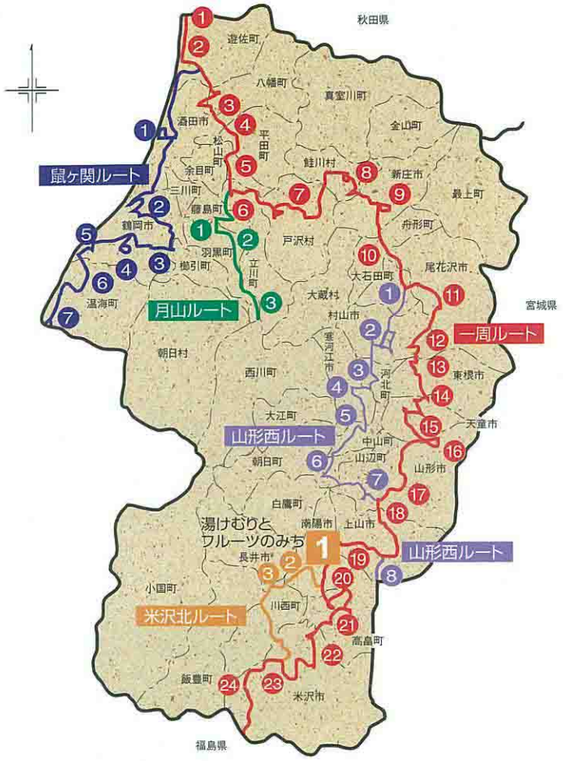
◎利用案内 ◆営業時間／AM9:00～PM4:30 ◆休館日／月曜日・年末年始
◆入 館 料／大人310円・中高生100円 ◆お問い合せ／TEL0238-47-5800

鶴布山珍蔵寺 Kakuhuzan-tinzouji

その昔、金蔵という青年が、鶴布を織りあげて姿を消した女房を偲んで建てたと伝えられている民話「鶴女房」のゆかりの寺で、境内の鐘には、鶴の恩返しの場面がきざまれています。

YAMAGATA MAP

東北自然歩道（新・奥の細道）ルート図



“新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といいます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469Kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

1.コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
2.歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
3.天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。

この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発！

おねがい

- ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- 案内板や休憩所はみんなのものです。大切にしましょう。
- 美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
  そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金還元融資を受けてつくられました。